



## 医療・介護多職種連携の集いが開催されました

日時：令和2年2月15日(土) 14時から17時半 場所：JA 夢みなみしらかわセレモニープラザ 参加者：112名  
令和2年2月15日(土)JA 夢みなみしらかわセレモニープラザで「医療・介護多職種連携の集い」が医療法人心の郷 穂波の郷クリニック 三浦 正悦先生を講師にお招きして開催されました。

また事例紹介・グループワークのファシリテーターは、医療法人心の郷 緩和ケア支援センター長 大石 晴美先生、居宅介護支援事業所「ここに幸あり」所長 吉田 香織先生が務められました。参加者は医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護支援専門員、介護職員など112名の参加がありました。

白河地域在宅医療拠点副センター長の杉原常夫の司会・進行により白河医師会 鈴木 茂毅会長より開会の挨拶がなされました。続いて、グループワークの方法について、杉原副センター長より生年月日を基準とした役割(司会・記録・発表者)の説明があり、また今日(2月15日)生まれの方おられますか？と出席者に問い掛け、一番誕生日が近い方にサプライズのプレゼントが贈られました(パースディケーキ)。

三浦先生の講演は「つなごう、地域へ、連携し合うその人のために、わたしたちは何をすべきか」というテーマで、認知症や終末期を自宅で過ごす人をどのようにつなげばよいか、皆さんと一緒に考えていきましょう、という内容で始まりました。

最初に「医療法人心の郷」の紹介がなされ、緩和ケアセンターや居宅介護支援事業所、緩和あったかネットの立ち上げの経緯などが説明されました。事例紹介では3例の動画が流れ、それぞれファシリテーターの大石先生、吉田先生より解説がなされました。

また、グループワークの一環として「白河のお宝発見」とテーマで、グループ毎に思いついた白河のお宝を模造紙に書いてもらい、それぞれのお宝が壁に貼り出されました。最後に質疑応答がなされ、3時間半の講座が終了しました。

寄せられたアンケートでは、この研修に参加して連携する機会が増えた・在宅支援に対する視野が広がった等、研修会の参加意義を感じる意見が多く寄せられました。また、100名以上の方が集まったことに感動しました。新しい研修スタイルで他職種の方から力をもらいました、などの意見も寄せられました。研修会終了後は、有志による交流会が催され、40名以上の方が歓談されました。



**テーマ：ACP 講義（白河地方広域圏消防本部）**

令和2年1月9(木)、1月16日(木)の両日にわたり、白河地方広域圏消防本部にて、ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の研修会が開催され、各回20名以上の職員の方に参加していただきました。

今回は、厚生労働省からの「心肺蘇生を望んでいない人の救急対応を検討して欲しい」通知(令和元年11月8日付け)、また「救急現場は、多くの場合医師はおらず、救急隊には事前に傷病者の意思は共有されていないなど時間的情報的な制約がある」という課題提起を受け、白河地域在宅医療拠点センターが消防署職員への ACP 出前講座を企画いたしました。

開会にあたり警防課 中野救急係長、消防課 白岩課長のご挨拶、在宅医療拠点センター副センター長杉原より、白河地域在宅医療拠点センターの事業内容の説明がなされました。

講義では、白河在宅支援診療所 穂積彰一医師より、ACP について穂積医師が実際に携わった5つの事例の紹介があり、今後の方向性については「必要な救急要請を躊躇してはならないのは当然ながら、人生の最終段階を迎える準備を適切に進めることで、関係者が慌たり、関係者間での情報共有が不足による避けることのできる救急要請を減らすことも重要」という説明がなされました。

続いて、「もしバナゲーム」(人生の最後にどうありたいかを話し合うきっかけにするのが目的で、35枚のトランプカードに終末期に関する希望が書かれている)のやり方について説明があり、4人一組のメンバー構成で行われました。

ゲーム後の隊員アンケートでは「家族間でのコミュニケーションの重要性を感じた」「傷病者及びその家族の意思を尊重した行動、活動はどういうものか、考える良いきっかけになりました」「医療従事者のみでなく、一般の方々にも広め理解を得たいです」など意見・感想が寄せられました。



**テーマ：高齢者がかかりやすい病気について**

令和2年1月17日(金)サンフレッシュ白河にて、講師に福島県医師会副会長で関医院院長の関 元行先生をお招きし、「高齢者がかかりやすい病気について」というテーマで、講演会が開催されました。当日は訪問介護職員の方々43名が参加されました。

18:30分、白河地域在宅医療拠点センターの杉原副センター長の挨拶と関先生の紹介があり、関先生の講演が開始されました。

冒頭、ご両親の看取りの経験や認知症の検査に使われる長谷川式の考案者である長谷川先生ご自身が認知症なられたことに触れ、認知症にならないための予防的な知識について解説がありました。またロコモシンドローム(「立つ」「歩く」といった移動機能が低下している状態のこと)にならないための運動や栄養の摂り方など、具体例や統計数字を挙げながら詳しく説明がなされました。

講演後のアンケートでは、「運動・食生活等アドバイスの材料になりました」「分かりやすい言葉が多く、難しくなかった。とても為になる話でした」「運動不足や栄養の偏りが気になっていたので、今日のお話を聞いてスタートするきっかけになりました」など、現場や自分自身の生活に活かせる意見が多く寄せられました。



**白河あったかセンター出前講座**

**テーマ：いつまでも元気に生き生きと生活を送るために**

令和2年2月13日(木)白河市高山コミュニティセンターにて、講師に介護老人保健施設ひもろぎの園 施設長 風岡 都先生による出前講座が開催されました。講座には地域住民・サポーターの方々22名が参加されました。

冒頭、あったかセンター新白河代表、金山 屯様より挨拶の後、白河地域在宅医療拠点センターの杉原常夫副センターより、拠点センターの仕事内容と講師の紹介がされました。

講座は「いつまでも元気に生き生きとした生活を送るために」というテーマで、講座では介護予防に効果がある食べ物や、サロンや自宅で手軽にできる運動について紹介があり、運動は参加者全員で行いました。講師の先生のパワフルかつユーモアのある講座は参加者の笑いも誘い、終始、和やかな雰囲気の中で行われました。



### 1月20日グループワーク

令和元年第 34 回ACP(アドバンス・ケア・プランニング)しらかわのグループワークが 1/20(月)16:30 より白河地域在宅医療拠点センターで開催されました。

はじめにグループ長の東 光久医師から、冒頭“85%”という数字の意味について、この数字何でしょうか？ と参加メンバーに質問がありました。意味としては、人は年度はじめに立てた目標のうち85%は挫折するという統計的な数字ですとの解説があり、ACPしらかわの目標について、『2年後、各施設にもしバナゲームファシリテーターを 100%に』ということに、改めて再設定してはとの課題提起で始まりました。

続いて、杉原副センター長から ACP 出前講座の実施状況及び今後の予定について説明がありました。

東 光久グループ長からは、政府の「持続可能な開発目標(SDGs)推進本部」で、2015 年に国連で採択された SDGs の達成のため、優れた取り組みを行う企業・団体等を表彰する「ジャパン SDGs アワード」の公募が 2017 年度から始まっており、ACPしらかわの取組みも応募可能かも知れず、調べていきたい旨の提言がありました。

### 2月17日グループワーク

第 35 回ACP(アドバンス・ケア・プランニング)しらかわコアメンバーによるグループワークが 2/17(月)16:30 より白河地域在宅医療拠点センターで開催されました。

はじめに、杉原副センター長から ACP 出前講座の実施状況及び今後の予定について説明がありました。今後の予定の中では、特に総合社会福祉施設 太陽の国 様での研修会は、看取りも多くなってきたことから、各施設(特養・障がい者施設等)の中堅クラスの職員(主任)を対象に、研修を実施して欲しい旨の依頼があり、令和 2 年 5 月 21 日(木)に予定することになったとの説明があった。

東 光久グループ長から、次年度(2020 年度)の目標を何にするかについて、議論していただきたい旨の提案があり、参加者から下記のような意見・提言がありました。

- ・白河市高齢者サロン(あったかセンター)10ヶ所における ACP 出前講座
- ・劇団員を起用しての ACP 市民講座
- ・未開催の特養・老健施設への ACP 出前講座
- ・ACP サポーター養成講座の実施
- ・ジャパン SDGs アワードへの応募

次の開催で、これらを含め、2020 年度の ACP しらかわの目標を確定させたい、となりました。



### 1 ACP & もしバナゲーム

- ・ACP(アドバンス・ケア・プランニング)とは
- ・グループワーク:もしバナゲーム

### 2 高齢者と薬

- ・多すぎる薬と副作用
- ・薬の疑問にお答えします

### 3 食事で見直す、心と体の健康づくり

- ・生活習慣病の基礎知識
- ・バランスの良い食事とは

### 4 元気に生きる

- ・健康にとって望ましい習慣とは
- ・元気に生きる秘訣とは

### 5 家にも受けられる医療

- ・住み慣れた家で長く療養できるために
- ・家にも受けられる医療について

### 6 みんなのリハビリ体操

- ・普段の生活に取り入れられる体操とは
- ・体操の実技をしていただきます

### 7 始めませんか？口腔ケア

- ・食べる事は健康な生活の基本
- ・どのようにお口の健康管理をすればよいか

### 8 腰痛、膝の痛み、足の痛み

- ・なぜ腰痛や膝の痛みが多いのか
- ・普段、家でできる予防エクササイズをします

### 9 認知症とその予防について

- ・認知症とは
- ・認知症を予防するには

### 10 大切な眼を守るため

- ・眼の役割や仕組みについて
- ・どう眼の健康を保つか



- \* 令和2年4月からの講座メニューです
- \* 出前講座の費用はかかりません
- \* 約1時間の講座です